

政治学方法論 I – 最終課題

レポート提出期限：2015 年 1 月 30 日午前 9 時（日本時間）

提出方法：担当教員に**メールの添付ファイル**として送る

提出するメールの件名：政治学方法論 1 最終課題

注意：提出するファイルは 1 つ：**final-NAME.pdf**

課題 この授業で学んだ方法を利用して、政治学に関連する仮説を数量的に検証しなさい。これまでの課題で集めたデータを利用してかまわない。また、先行研究のレプリケーションを行ってもよい。検証結果は、(1) 最後の授業の際に報告し、(2) レポートとして提出しなさい。

レプリケーションを行う場合の注意（最低でも）以下の内容を実行すること

- まず、元論文と完全に同じ結果を出すよう努力する
- 完全に同じ結果が出たら、改善点を見つけ、実行する
- 完全に同じ結果が出ない場合、問題点を見つけ、「正しい」分析結果を報告する
- 改善された結果が示す実質的な意味を解釈し、元論文の議論の妥当性を論じる

授業中の報告 1 月 21 日の授業中に、分析結果を簡単に報告する

- 報告時間：5 分（厳守）
- 質疑応答：5 分
- スライドを使いたい場合は、当日の 15 時までに担当教員にメールで送ること
- スライドの枚数：一人 2 枚まで

レポートの提出 分析結果をまとめたレポートを提出する

- 形式：PDF ファイルで提出
- 分量：自由（必要な分だけ）
- 未公刊の論文であれば、他の目的のために作成したものを提出してもよい（ただし、以下の

注意をよく読むこと)

- 通常の論文にとって重要な構成要素である「先行研究のレビュー」は省略可
- 検証する仮説を、分析に使用した変数名を用いて明示的に示すこと
- どのような統計モデルをどのような手法で推定したのか明らかにすること
- 通常の論文では省略される（または付録に入れられる）ような、分析の妥当性の検証を本文中で行うこと
- 本文中に説明のない図表は評価の対象にしない（存在しないものとして扱う）
- 締め切り厳守